



東日本大震災から10年。今も元の生活に戻れず苦しむ方々にお見舞いを申し上げます。そして、コロナ禍でのダイヤ改正を迎え、安全・安定輸送に邁進する全組合員の皆さんに敬意を表します。

経済が冷え込む中、国の借金は約1200兆円、国民1人あたり約983万円となり、消費税や社会保険料は次々に増加している。日本の借金は漠然と不安を抱くだけでなく、経済を底上げするための具体論を考えなくてはならない。その下地作りは政府や国の役割だが、賃金については企業の課題となる。

21春闘の趣旨とすれば、20年以上に及ぶ冷えきった経済に一石を投じる要求だった。それは、鉄道起点からヒト起点への転換といった趣旨にも合致する。消費を増やすことが、ひいてはJR東日本グループの利用増加にもつながるからだ。

新型コロナウイルスの影響でJR東日本初の赤字決算となる中、私たちは、鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値基軸に据え、諸施策を担う努力をしてきた。また、黒字化に向けて組合員の英知を集め、建設的な提起を行ってきた。年収ベースで約10%削減される中においても、感染防止に努めつつ業務に携わってきた。

それにも関わらず21春闘の会社回答は「ベアゼロ」・定期昇給は実施するも「昇給係数2」の回答であった。1305機関もの職場からの激励に込められた想いと、バスやJESSの仲間の想いを胸に、第3回交渉では、休業も運休も行っていない中で唐突な定期昇給半減という回答に、納得感に欠け、不満があると立ち向かった。

会社は「定期昇給を実施するものの『昇給係数2』となった」「規程の範囲内、協約の範囲内で行っている。今回時期をずらしてまで、定期昇給の今までのありよう、あるいは規程の中身にかかわるまでまで行っていることではない。そこについては変える判断には至っていない」「将来について今から予定するものではない」との回答であった。

一方、「我々が団体交渉で主張してきた要素組合員の奮闘（加味）も加味して昇給係数2に上がったのか」の質問に対しては「そうだとはいえなかった。仮に、労働組合が団体交渉をしなければ更に厳しい事態となっていたのだ。」

コロナへの恐怖を感じつつも安全・安定輸送と、増収・コストダウンに奮闘し、一日も早い赤字解消につなげようと奮闘する組合員の想いを踏みにじる回答であり、この間

21春闘の怒りと悔しさをバネに 組織強化・拡大を実現しよう！

組合員の努力は何だったのかと、かつてない悔しさと怒りでいっぱいである。そのことから、私たちは席上妥結せず、全地本委員長会議を急遽開催し、「再申し入れも検討すべきではないのか」という厳しい議論の末、苦渋の決断として妥結した。

私たちは、組合員を引き出した「18春闘」の反省から「新生JR東労組運動宣言」を提起し、組合員の声を出発点に、安全性や労働条件の向上を目指して取り組むことを誓った。そこには、賃金や労働条件向上のためには日々の業務を通じて施策に向き合い、建設的な議論で会社を発展させる意味も込めている。

しかし、一部管理者を中心とする不当労働行為や脱退懲罰は今も続く。添乗中に「会社は訴訟になっても負けるようなヘマはしない、確たる証拠がなければ駄目なんだ！」と公然と述べる管理者まで現れた。また、組合への嫌悪感からか、過半数代表選ではコロナ禍にも関わらず本社や支社の幹部が職場を訪れ、組合以外の候補者にエールを送ったと聞く。ある職場の社友会では過半数代表選に際して『会社に対して反旗を翻す』ということをよく考えてみてほしい』とメッセージが送信されたようだ。

さらに、ある駅やある工務職場でのハラスメントの告発が中央本部に寄せられている。残念ながら、ハラスメントを行う管理者が存在する職場は、一つや二つではない。会社や社員の将来を真剣に考える管理者がいる一方で、私たちへの嫌悪感を露わにした一部の動きを見逃してはならない。「昇給係数2」になるほどの赤字の中、一丸となって会社を立て直している状況で「何をやっているんだ！」という怒りでいっぱいである。

最近再加入した組合員は、加入理由をどう述べている。「一般社員への非協力的な管理、管理者のかかわるミスの隠ぺい気質、一般社員のミスに対するしり上げ、出張・研修等勤怠管理の甘さ、管理者の明けの理由不明な超過勤務、セクハラ、パワハラ、モラハラなど、我慢の限界を超えている社員は多くいるはずだ。そして私は、この職場環境を是正するべく、再加入しました」。

本意の意味での先行き不透明な時代であり、いつ、誰が、どのような形で窮地に陥るか分からない。21春闘妥結結果に対し組合員から寄せられた「組合がなければどうなっていたのか」という意味を全組合員が離脱者一人ひとりに語りかけなくてはならない。

このような時代だからこそ、仲間とのつながりや助け合いを大切にできるJR東労組に結集し、怒りと悔しさをバネに、安心して働き暮らせる環境をいっしょに出そう。

21春闘妥結にあたっての中央本部見解

21春闘勝利に向け、過去に経験のない厳しい現実の中、討議資料を活用した職場議論を積み重ねていただき、中央本部には130機関を超える激励が届きました。中央本部と共に職場から創造的なたたかいをつくり出した全組合員・ご家族に感謝を申し上げます。

JR東労組は、昨年の年末手当のたたかひの総括を踏まえ、『厳しい春闘情勢下において「雇用確保」「定昇確保（昇給係数4）」「ベア要求」を堂々と掲げ、グループ会社で働く仲間と共にたたかおう！』をスローガンに据え、厳しい21春闘をたたかひ抜く組織のベースを職場議論によってつくり出し、団結を強化してたたかひ抜いてきました。

申11号「2021年度賃金引上げ等に関する申し入れ」の団体交渉において、コロナ禍の情勢を踏まえ、事業継続と雇用の維持について強い問題意識のもとに議論し、会社より雇用形態について「今までと変わるものではない」という認識を一致してきました。そして、なにより、職場の組合員から寄せられたコロナ禍における努力を強く訴え、施策やコストダウンによって生産性の向上に繋がっていること、コロナ禍や災害における職場の奮闘が経営を支えていることを一致することができました。

しかし、申11号第3回団体交渉において本社より「ベースアップは行わない。定期昇給は昇給係数2で実施」とした回答が示されました。会社は、JR東日本初の▲5080億円という厳しい経営状況、約1年で有利子負債が約1兆円も増加している財務状況において、「都度の判断からして今回においては賃金引上げが難しい」「定期昇給が行えるかどうかとも考えると、今までにない判断をせざるを得ない状況」「定期昇給が行えるか考えれば経営状況からすると厳しい」と認識を述べました。しかし、JR東労組が団体交渉で訴えた職場の苦労や努力、生産性向上、変革2027に向き合っていることなどの要素も加味されて「昇給係数2」に至った判断であるという会社回答がありました。

それらの回答を受け、全組合員とつくり出した21春闘だからこそ、納得感に欠けることから持ち帰り、全地本執行委員長会議で議論しました。会議では「組合員と共に職場でたたかひをつかってきたから、厳しい結果に怒りと悔しさがある」「今の現状を甘く見ていた」「定期昇給（係数4）が当たり前だと思っていた」「交渉しなければゼロもあったのではないかと。交渉して昇給係数が2になった」「この回答がグループ会社の仲間にも影響しないか心配だ」「要求しないことのような議論もできない。労働組合ではないとたたかひができない。社友会ではたたかひできない」「今後JR東労組の組織拡大をしないとこれ以上の結果が出ないのではないか。これから組合員と共に運動をつくっていく」などの意見が出されました。

JR東労組は、全組合員が赤字・コロナ禍において「緊急提言」を実践し、「雇用確保」「定昇確保」「ベア要求」の3つの柱のもと、全組合員が要求根拠を職場で議論しました。組織的要求に高めた職場の組合員のたたかひなどによって、これまでになく厳しい情勢下において、一定の回答が示されました。組織現実、経営状況、春闘情勢を踏まえた全地本執行委員長会議の判断として、その結果を受け止め、妥結という苦渋の判断に至りました。第二基本給の凍結と65歳定年制については、実施の判断に至らないという回答であり課題を残すことになりました。

21春闘で勝ち取れなかった課題の解決のため、この妥結結果について組合員一人ひとりがどのような認識を持っているか出し合おう。その声を基に、我々が置かれている現実を受け止め、JR東労組の課題を明確にし、悔しさと怒りをバネに全組合員で組織強化・拡大のたたかひをつくり出していこう！そして、バス東北・バス関東・JESSの仲間の21春闘のたたかひを共につくり出し、JR東日本グループ全体の底上げを目指していこう！

JR東日本が発表したグループ年次計画では、1日の利益が▲12億円となっていることが分かりました。JR東日本を取り巻く状況はますます厳しくなっており、社会環境の変化を認識し将来展望を描く必要があります。21春闘の教訓を活かし、私たちの仕事と職場と生活を守るたたかひを全組合員と共につくり出す決意を明らかにして、見解とします。

2021年3月18日
東日本旅客鉄道労働組合

JR東労組推薦候補者 当選！

千葉市長選挙 神谷 俊一 氏

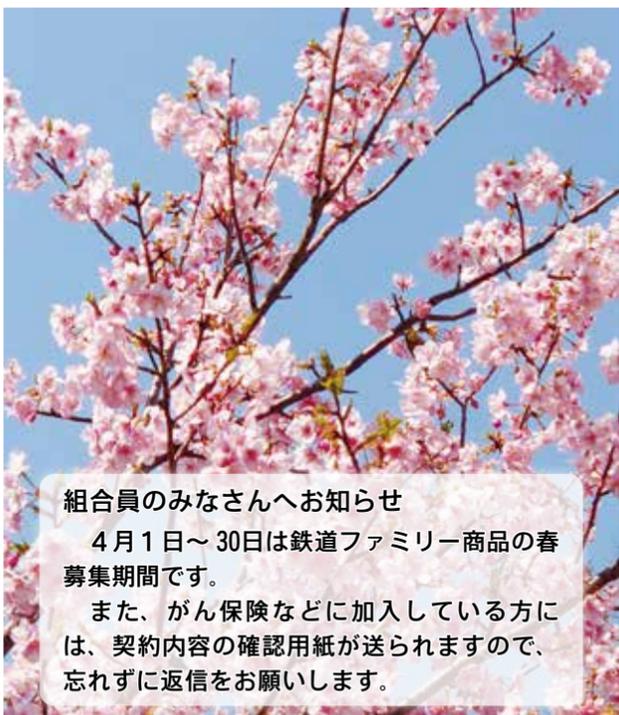
JR東労組推薦候補者決定

参議院長野選挙区選出議員補欠選挙（4月25日投票日）

羽田 次郎 氏 立憲民主党・新

鎌倉市議会議員選挙（4月25日投票日）

岡田 かずのり 氏 立憲民主党・元



組合員のみなさんへお知らせ

4月1日～30日は鉄道ファミリー商品の春募集期間です。

また、がん保険などに加入している方には、契約内容の確認用紙が送られますので、忘れずに返信をお願いします。